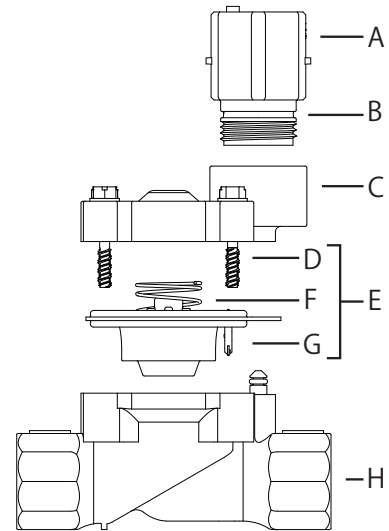


# インラインスプリンクラーバルブ20mm (電磁弁)

#94480

## バルブの構成部品

A ソレノイド	E ダイアフラムアッセンブル (パッキン)
B ソレノイド Oリング	F スプリング
C バルブカバーアッセンブル	G フィルター
D バルブカバースクリュー	H ボディ



## ■手動散水

タイマーを使わず手でバルブ(電磁弁)の弁の開閉が行えます。

・ソレノイドを反時計回しに1/4回転させる。

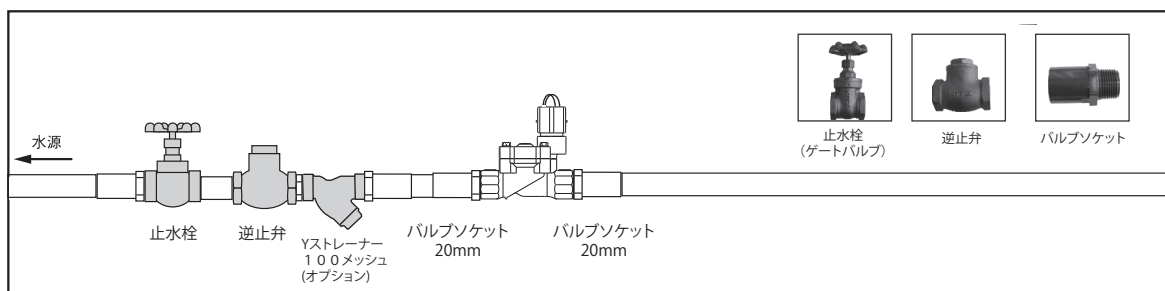
[注]通常のタイマーによる自動散水を行なう場合は、ソレノイドを最後まで閉めて下さい。

## ■インラインバルブ(電磁弁)の設置

① 散水システム用の止水栓と逆止弁を設置する。

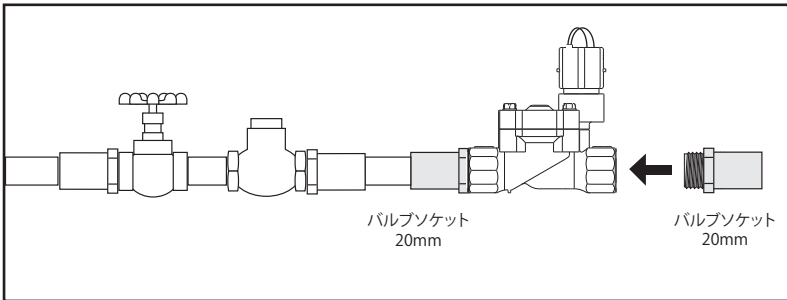
\* 電磁弁に異物が挟まり、弁が閉じなくなることを防ぐため、100メッシュ以上のYストレーナーを設置することをお勧めします。井戸水を使用する場合は、必ず100メッシュ以上の井戸水用砂こし器や農業用フィルターを設置してください。井戸水の場合は異物が多いため、Yストレーナーでは対応できない可能性があります。

\* 止水栓や逆止弁設置後、電磁弁を取り付ける前に、必ず水を流し、配管内の異物を洗い流してください。

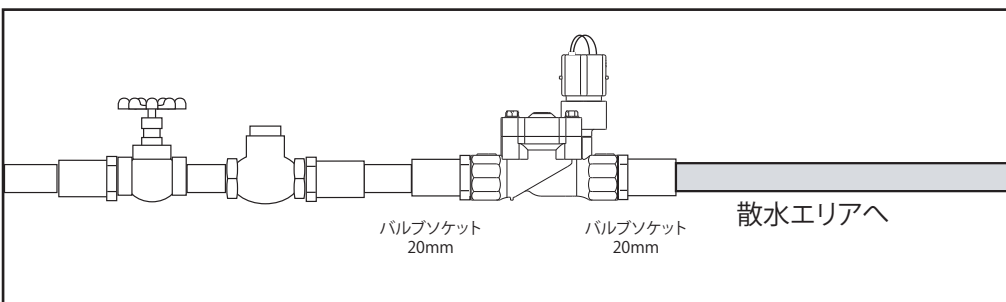


②インラインバルブ(電磁弁)を設置する。

バルブ上部の矢印は水の流れです。矢印に従ってインラインバルブを設置してください。インラインバルブの呼と出の接続部分は20mmのメスねじです。接続には20mmバルブソケットを使用します(メタルなしを使うことをおすすめします)。接続の際、バルブソケットのねじヤマにシールテープを巻いてください。またソケットの締めすぎに注意してください。締めすぎるとインラインバルブが割れる恐れがあります。通常インラインバルブはバルブボックスの中に入れ埋設します。(インラインバルブ用ボックスのページをご覧ください)



③ インラインバルブの「出」から散水エリアまで配管する。配管にはHIVP(塩ビ管)をおすすめします。



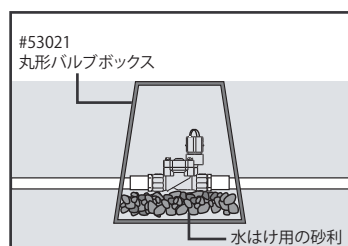
④ 配管が終わったらインラインバルブの手動散水でバルブを開き、水を流し、配管の中の泥やゴミを洗い流してください。

■インラインバルブ用ボックス

インラインバルブは通常バルブボックスに入れて埋設します。

●丸型バルブボックス

当社の丸形バルブボックス(#53210)には、1つのインラインバルブを収納することができます。

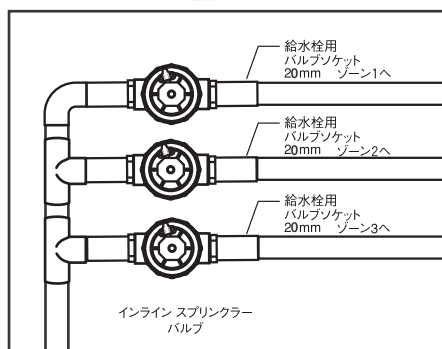


## ●角型バルブボックス

インラインバルブが複数ある場合、まとめて角型ボックス(#53212)に入れることもできます。角型ボックスには最大3つのインラインバルブを収納することができます。バルブボックスには配管用の穴が空いていません。呼の配管、出の配管位置に穴を空けてください。



#53030/#53212  
角型バルブボックス



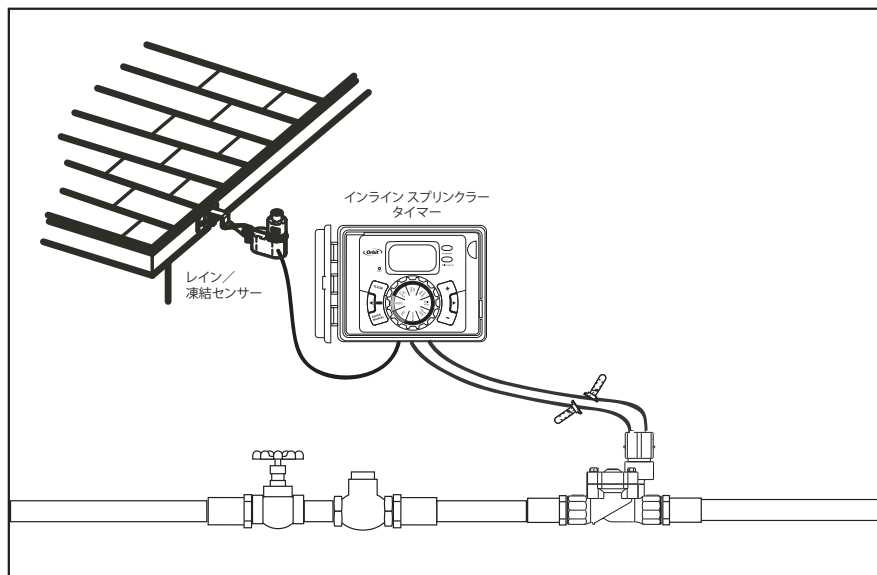
・配管用の穴をあける



・インラインバルブをボックスの中に設置する。水はけ用にバルブの下に砂利を敷くことをおすすめします。

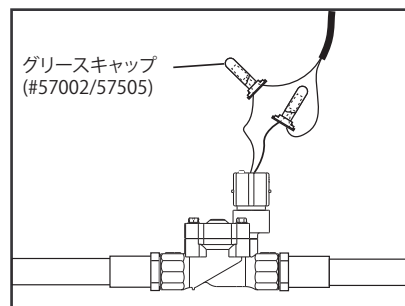


## ■タイマー/バルブの結線

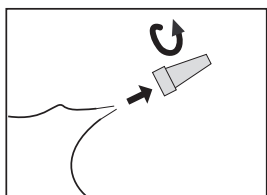


①バルブから出ている2本のケーブルに電気ケーブル (VCT/VCTF) を結線し、タイマー設置位置まで配線します。結線箇所は水が入らないよう防水処理してください。当社商品「グリースキャップ (#57002/57505)」はケーブル同士の結線に使用し、つなぎ目を防水します。

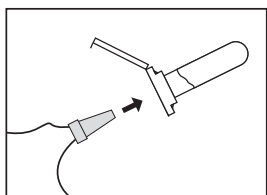
\*ケーブルはCD管などの保護管にいれて設置することをおすすめします。



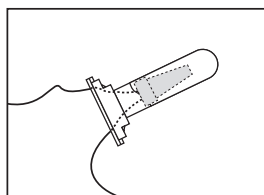
●グリースキャップの使用方法



電気ケーブルの先のビニールをはがし、付属のオレンジ色のキャップにケーブルに差し込み、キャップを回す

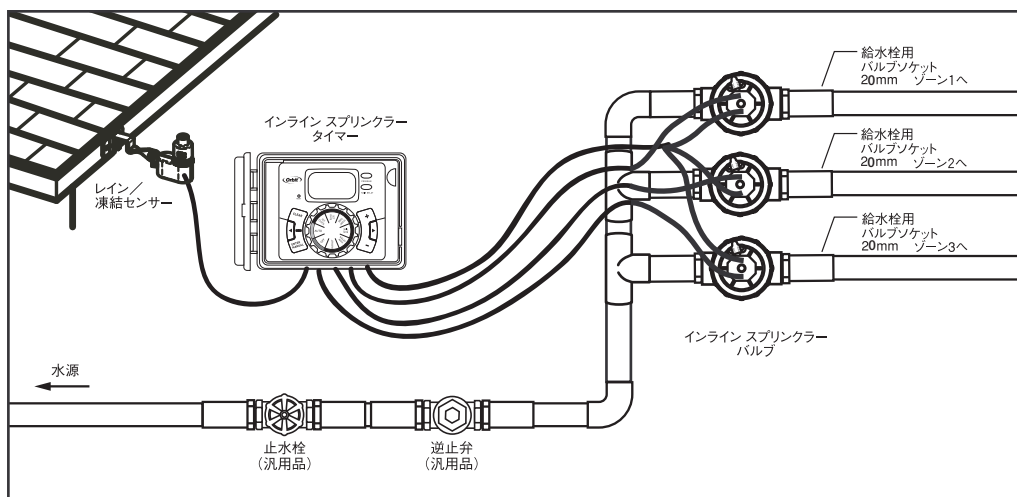
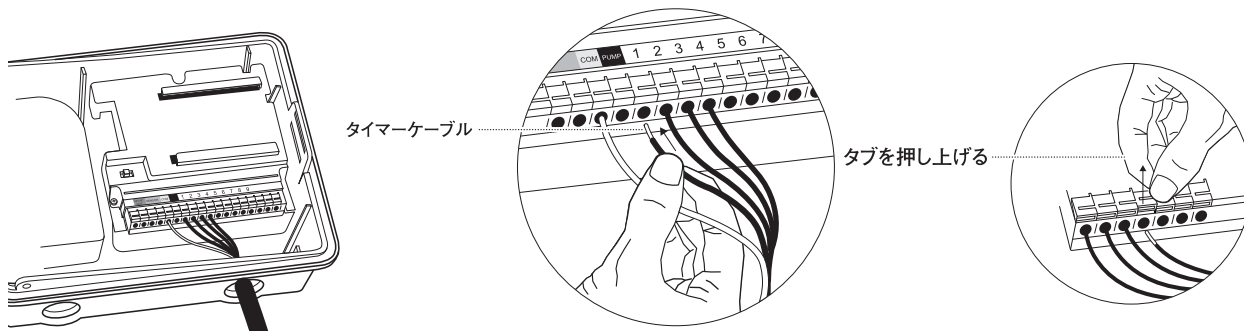


グリースキャップのフタを開け、オレンジ色のキャップが完全グリースに浸かるまで差し込む



グリースキャップのフタを閉める

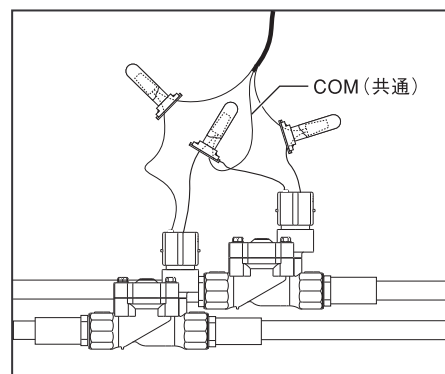
② 電磁弁に接続した電気ケーブルの反対側をタイマーの接続端子に取り付けます。タイマーのパネルを開き、電気ケーブルのタイマー側の先端のプラスチックカバーをはがし、1本を端子1に、もう1本をCOM(コモン)(共有)に接続します。電気ケーブルを差し込み時、端子上部のタブを押し上げて、ケーブルを差し込んでください。



③バルブが複数ある場合は、各バルブの1本のケーブルをタイマーの接続端子の「1～4」、「1～6」または「1～12」(タイマーによって付けられるバルブの数が異なります)の番号が記された所に接続し、すべてのバルブのもう1本のケーブルを1つにまとめCOM(共有)に接続します。接続端子の番号は散水ゾーンに対応しています。端子1に接続したバルブがゾーン1となります。

\*複数のバルブを同じ場所に設置する場合は、COM(共有)用のケーブルをバルブ側でまとめます(図参照)。

\*1本以上のケーブルを同じ番号の端子に接続しないでください(COMは大丈夫です)。



③ タイマーの手動操作で散水テストを行なってください。

## ■トラブルシューティング

●バルブ(電磁弁)の手動散水でも散水できない。

この場合は、物理的に水が配水されていないことが考えられます。

→1次側水栓が閉まっている。

→散水装置(電磁弁)まで水が配水されていない。

●バルブ(電磁弁)の手動操作では散水できるがタイマー操作での散水ができない。

この場合は、電気的な故障が考えられます。

→タイマーとバルブの結線が正しくできていない。

→タイマーの電源(100V)が入っていない。

タイマーに電気がきていない場合ディスプレイに「POWER OFF」と表示されます。

→電気ケーブルがどこかで断線している。

→ソレノイドが故障している。

ソレノイドを交換する。

●散水の水が止まらない

→バルブ(電磁弁)のソレノイドが緩んで、手動散水が行われている。

→バルブの弁に異物がはさまっている。

「バルブカバースクリュー」を緩め、「バルブカバーアッセンブル」を外し、スプリング、ゴム製の「ダイアフラム」

取り出し、止水栓を開け水を流し、バルブ内の異物を洗い流す(図参照)。「ダイアフラム」に付いた泥や砂などの異物も水で洗い流してください。

